令和８年11月27日発表
青森県「農林水産力」強化本部

令和８年産りんごの生産概況

１　気象（黒石：りんご研究所）

（１）積雪深

積雪深は、令和８年１月上旬から平年を上回って推移し、特に１月中旬から２月中旬にかけては平年を大幅に上回った。最深積雪は１月31日の154cm（平年102cm）で観測史上歴代５位を記録した。２月下旬以降は平年を下回り、消雪日は平年より３日早い３月24日であった。

（２）気温

平均気温は、６月下旬、８月上旬及び９月上旬を除き平年並から平年より高く推移した。真夏日は計23日で猛暑日は観測されなかった。

（３）降水量

降水量は、６月及び７月を除き平年並から平年より少なく推移した。６月及び７月の降水量は平年よりも多く、それぞれ108.5mm（平年比148％）、144.0mm（平年比132％）であった。

（４）日照時間

日照時間は、７月を除き平年並から平年より多く推移した。特に、５月は242.1時間（平年比123％）で観測史上歴代４位に多かった。４月から10月までの総日照時間は1,292時間（平年比107％）であった。

２　生育ステージ（発芽～落花）

黒石でのふじの発芽日は平年より７日早い３月30日、展葉日は６日早い４月10日、開花日は８日早い４月28日、満開日は７日早い５月４日、落花日は６日早い５月９日であった。

五戸（りんご研究所県南果樹部）でのふじの発芽日は平年より６日早い３月31日、展葉日は５日早い４月13日、開花日、満開日、落花日はそれぞれ６日早い５月１日、５月６日、５月12日であった。

3　開花・結実と着果状況

開花量は各品種とも十分であったが、結実は、開花期間中の強風・低温などの影響で、地域や園地によっては、ふじで中心果の欠落などがあった。

着果率は７月13日、15日に県が行った着果状況調査では、つがる40.1％、ジョナゴールド38.8％、王林38.7％、ふじ35.9％で、園地によってバラツキがあるものの、いずれの品種も標準着果率（つがる、ジョナゴールド：29％、王林、ふじ：25％）を大きく上回り、成らせ過ぎの傾向であった。

4　果実肥大（横径）

黒石における６月１日（調査開始）時点の果実横径は、つがるで2.8cm（平年比140％）、ジョナゴールドで3.1cm（平年比141％）、ふじで2.6cm（平年比144％）と平年を大幅に上回った。その後も降雨に恵まれたことから、果実肥大は平年を上回って推移し、最終調査時の果実横径は、つがるで9.1cm（平年比102％）、ジョナゴールドで10.1cm（平年比105％）、ふじで9.2cm（平年比103％）と平年を上回った。

県生育観測ほのふじの果実肥大（最終調査時）は、青森市で9.2cm（平年比105％）、弘前市で9.2cm（平年比103％）、板柳町で9.5cm（平年比106％）、三戸町で9.2cm（平年比105％）でいずれも平年を上回った。

5　収穫期

黒石での果実熟度の進みは、トキが平年並、その他の品種で平年よりやや早かった。

収穫始めは、つがるが９月５日頃、トキが９月29日頃、ジョナゴールドが有袋果で10月９日頃、無袋果で10月11日頃、ふじが有袋果で10月27日頃、無袋果で11月１日頃であった。

6　果実品質（黒石：りんご研究所）

つがるは、平年値と比較して、糖度及び着色指数はやや高く、硬度は同程度、ヨード反応はやや低く、酸度は低かった。

トキは、平年値と比較して、硬度及び糖度は高く、表面色指数はやや高く、酸度及びヨード反応は同程度であった。

ジョナゴールドは、平年値と比較して、着色指数は高く、硬度及び糖度は同程度、ヨード反応はやや低く、酸度は低かった。

有袋ふじは、平年値と比較して、硬度、糖度、酸度、ヨード反応及び着色指数は低かった。無袋ふじは、平年値と比較して、糖度、着色指数及び蜜果率は高く、硬度及び蜜程度は同程度、酸度及びヨード反応は低かった。

7　主要病害虫の発生状況

（１）病害

発生時期は、モニリア病の葉腐れ初発は平年より早く、実腐れ初発はやや早かった。

斑点落葉病及び褐斑病の葉上病斑初発は平年より早かった。

発生状況は、腐らん病がやや多く、褐斑病が県南地域でやや多かった。

（２）害虫

リンゴハダニの越冬卵のふ化初発日は平年より早く、終息日は平年よりやや早かった。キンモンホソガの羽化は平年よりやや早い～早かった。モモシンクイガの産卵初発日は平年よりやや早く、産卵終息日は平年より遅かった。

発生状況は、ナシマルカイガラムシがやや多く、リンゴハダニは一部園地で多かった。

また、津軽地域では、キリガ類、ヒメボクトウが散見された。

８　生理障害等

ふじのつる割れの発生は一部園地でやや多かった。王林等にビターピットが散見された。日焼け果、鳥害の発生は少なかった。

９　気象災害

昨年に続く今冬の豪雪で、津軽地域を中心にりんご樹の樹体損傷等の被害が発生した。

被害面積は津軽地域の13市町村で6,783ヘクタール、被害金額は約196億円となり、昨年に次ぐ被害額となった。

※令和９年りんご生産情報第１号は、令和９年４月上旬に発表予定。